

住まいの「安心」「安全」「健康」をとことん追求する、「コダワリコトブキ」の家づくり

株式会社寿工務店



乙部 正美 会長
(おとべ・まさみ)

●会社概要

所在地：下関市大坪本町25-25
 年商：11億65百万円(平成23年10月期)
 設立：昭和39年5月
 資本金：50百万円
 従業員：35名(平成23年10月末現在)
 事業内容：官庁工事
 建築一般、民間住宅
 増改築リフォーム
 不動産、宅地造成
 営業所：北九州営業所(北九州市)
 URL：<http://ys-kotobuki.com>

●会社沿革

昭和39年5月	有限会社寿工務店設立 (資本金50万円)
昭和49年9月	資本金2,000万円に増資
昭和50年2月	株式会社に改組
昭和52年3月	乙部正美氏が代表取締役就任
昭和61年1月	資本金4,000万円に増資
昭和63年10月	資本金5,000万円に増資
平成14年8月	北九州営業所開設
平成23年2月	財団法人やまぎん地域企業助成基金 の助成企業に選定

◎はじめに

建設業は、地域の経済や雇用を支えるという重要な役割を果たしてきた。しかしながら、公共工事の削減や民間工事の縮小、さらには建設資材の高騰等、この業界は近年、かつてない厳しい環境に取り巻かれている。

こうした逆風下でも、独特なこだわりを持った注文住宅の建設により、安定経営を続けるのが、本稿で取り上げる(株)寿工務店(下関市)である。

住宅事業の責任者として自ら指揮をとるのは、会長の乙部正美氏。住まいの「安心」「安全」「健康」をとことん追求する乙部氏が語る、家づくりへの様々なこだわりを紹介する。

◎建売住宅から注文住宅へシフト、一般建築にも進出

当社は、注文住宅以外にも、神社・学校・病院等に数多くの実績をもつ総合建設業者である。

昭和39年の設立から数年間は、建売住宅の建設のみを手がけていた。ところが、帰郷して家業に携わったばかりの乙部氏はある問題に直面する。誰が住むか分からない建売住宅は、買主の顔が見えない。それ故に、職人が材料を大切に扱わない等、意識の低さが目立ったのだ。また、住宅ブームの到来により、「早かろう、安かろう、悪かろう」という風潮があり、乾燥が不十分な木材を平気で使うような業者まで現れた。このような業界の状況に納得がいかなかった。当社は、昭和47年、建売住宅を一切止めて注文住宅に切り替えることになる。

移行当初は全く仕事が無く、何人もの職人が辞めていった。そこで乙部氏は、材料の質を追求することが差別化につながると考え、木材の乾燥工場を新設することにした。自らが全国の工場を見て回った末、変色や曲がりがなく、強度をそのまま生かすことのできる低温乾燥を採

用した。低温乾燥は時間がかかるが、それでも木材の品質向上を優先させた結果、数年後には、年間30棟の建築実績をあげるまでに漕ぎ着けたのである。

一般建築工事に進出したのは昭和50年のこと。施工主との強い繋がりにより、高層ビルが皆無に近かった当時の下関で、9階建てビルの建設に挑戦することになった。昭和56年には、大手ゼネコンとの凄まじい競合の結果、地場業者では初めて、病院建設の受注を勝ち取ることに成功する。それらの実績はその後、結婚式場など多彩な建築物の受注に発展していった。

◎自然素材へのこだわり

そうして、総合建設業へと成長した当社であるが、その原点は住宅建設にある。今では会長を務める乙部氏が、住宅事業部門のトップを譲らない所以もそこにあるだろう。

当社が施工する注文住宅は、すべての人々が安心・安全で健康に過ごせる空間を追求するため、様々なこだわりを持つ。そのひとつが自然素材へのこだわりである。

新築住宅で問題となるシックハウス症候群の最大の原因は、接着剤等に含まれるホルムアルデヒドをはじめとする化学物質である。建築材料などに広く用いられる新建材¹は、接着剤や塗料を使



▲無垢材を使用した構造材

1 コストダウンや作業効率を優先して生まれた、合板などの建材。

用しているため、化学物質を含んでいる可能性がかなり高い。新築の家や新品の家具からツンとする臭いがするのはそのためである。JIS規格（日本工業規格）の最上位であるF☆☆☆☆（エフ・フォースター）等級の建築材料は、ホルムアルデヒドの含有量が極めて低いとして、使用を認められているものの、「ゼロホルム」ではない上、他の化学物質も含んでいる。

そこで着目したのは、化学物質を含まない自然素材の無垢材²である。無垢材は、湿気が多い日は水分を吸収し、乾燥している日は水分を放出して湿度を一定に保つ。また、断熱性にも優れており、夏は涼しく、冬は暖かい。当社は、構造材や内装材にはすべて無垢材を使用し、新建材は一切使わないという結論に至った。柱はもちろん、屋根の下地や床の下地など完成してからは見ることができない部分にも、無垢材が用いられている。

こうしたこだわりは、テーブルや収納ユニットなどのインテリアにも反映されている。どれもが直接体に触れる部分だからこそ、これらの家具や建具類も自然素材にこだわる。当社が演出する癒しの空間は、趣と温かみにあふれ、デザイン性と実用性を兼ね備えている。もちろん、職人による手づくりである。

品質確保のため、木材の調達にもこだわる。プ



▲手づくりのローテーブル

2 一本の原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出したもの。

口のみで十分吟味した物だけを買付け、一旦自社工場にて保管する。半年間の自然乾燥もしくは低温除湿乾燥を実施し、含水率計で水分チェックを行ったもののみを使用する。機械加工済の建材を現場へ搬入するため、効率的な施工管理やコスト縮減にも大きく貢献している。

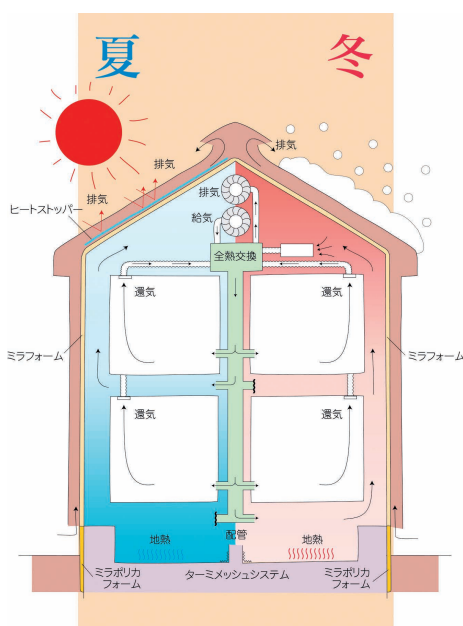
◎工法と性能へのこだわり

こだわりは、自然素材だけではない。快適な住環境づくりのため、工法と性能へのこだわりも持ち続けている。

工法については、家全体を断熱材ですっぽり包む「外張り断熱工法」を採用し、断熱材は、フロンガスを含まず環境に優しい「ミラフォーム」と「ミラポリカフォーム」を使用した。断熱材の接合部に気密テープを貼り、気密性を高めた。

高気密ということは、換気が重要になってくる。そこで、全熱交換型新換気システム「SA-SHEの家」を採用し、構造体の乾燥と排熱・配熱の目的から、居室と連動させて床下や壁の中、小屋裏も換気を行っている。

また、防蟻対策として、薬剤を一切含まない



▲全熱交換型新換気システム

ミラポリカフォームで基礎の外断熱を行い、配管周りはシロアリが通れないよう、ステンレスメッシュを施した。

一方、耐震への取り組みとしては、「住宅性能評価耐震等級1」³の2.69倍の耐震強度を持つ木造住宅用耐震構法を採用している。

◎「自社大工」による施工へのこだわり

いくら良い材料を厳選しても、いくらデザインを追求しても、造る人の「技」がなければ、住宅本来の性能を発揮することはできない。また、「技」が均一でなければ、クオリティの高い家を造り続けることは不可能である。これらを実現すべく、当社は構造体施工から断熱施工、造作工事に至るまで、「自社大工」による施工に徹底的にこだわっている。

多くの工務店は、家づくりに携わる職人を外注に頼っている。これに対し、当社の棟梁・大工12人は、全員が社員である。安定した雇用の下、社員の仕事に対する意識も高いという。丁寧な仕事ぶりや、小さなクレームに対する素早い対応など、プロとしての自覚をもった社員の姿勢は、堅実な家づくりに力を入れる当社の財産だと、乙部会長は誇らしげに語る。

◎こだわりから生まれた健康至高住宅「一香団欒（いっかだんらん）」

家具や家電製品など、室内にある様々な物からは、化学物質のガスが発生している。いくら住宅に自然素材を使っても、それらのガスを素材が吸ってしまうと、新材の家と変わりがなくなる。そのため、漆喰・木材・炭を使った「生物的な」家づくりに着手した。その結果誕生したのが、健康至高住宅「一香団欒」である。

³ いわゆる「品確法」に基づくもので、数百年に1度程度発生する地震に対して倒壊・崩壊等しない水準。

特徴の1つが、100%自然素材の壁材「幻の漆喰」。化学物質に対する吸着力が非常に高い焼成カルシウムと、麻のスサ（繊維くず）や海草を煮込んで作った糊を、無菌水で混ぜ合わせて生成した。室内の空気を半永久的にクリーンに保ち、様々な化学物質を吸着分解する。

第2は、常温熟成庫の中でクラシック音楽を聞かせながら熟成乾燥させた、生きた建材「音響熟成木材」。調湿性能が良く、結露防止や防カビ対策に役立つ。また、保湿性にも優れ、体感温度が人肌に近く、一年中素足の生活が楽しめる。

第3のポイントが、畳の中に竹炭をたっぷり入れた「清活畳（せいかつだたみ）」。6畳2間でドラム缶1本分の竹炭を使用した。脱臭効果で部屋の清々しい空気が保たれ、マイナスイオン効果でぐっすり眠れ、目覚めもさわやかである。

当社は、「一香団欒」に興味を示した見込客に、モデルハウスへの無料宿泊を勧めている。実際に宿泊を体験した人の中には、にわかに喘息が治まった子供もいるという。

◎会長自らが、施主の前で心構えを表明

「こだわり」を持った家づくりを追求する当社は、工期も5～6ヶ月と普通の家の2倍の手間をかけている。会長によると、「価格競争をしなくても満足してもらえる家を提供し続けることで、顧客も紹介や口コミで集まっている」そうだ。



▲無料で宿泊できるモデルハウス

ちなみに当社は、注文住宅の着工時に、関連の工事業者も集めて、全員が施主の前で、家を作るに当たっての決意表明を行う。会長自らも施主に対して心構えを表明する。そして施主にも、なぜ当社に依頼したのか発表してもらおう。これは職人にとって、かなりの精神的重圧となるが、一方で良い刺激剤にもなっている。その効果は、工事途中に行う施主へのアンケートで、その採点がほとんど満点に近いことから十分窺える。

◎会長の座右の銘は「至誠天通」

施主の様々な要望に対応できる確かな技術と、設計から施工、さらにはアフターサービスに至るまで徹底して施主と付き合う姿勢は、注文住宅に強みを発揮している。過当な広告宣伝と価格競争をすることなく、県内や福岡県を中心に着実に実績を伸ばしており、注文住宅の年間施工数は前年度に比べると倍増している。

乙部会長の座右の銘は、中国の儒学者・孟子の言葉とされる「至誠天通」（まごころをもって事に当たれば、いつかは認められる）である。昭和50年代に手掛けた9階建ビルや病院・結婚式場は全て、会長の「まごころ」が施主の心を動かし、受注につながったという。この精神が注文住宅の施工にも生かされているのは言うまでもない。

◎おわりに

当社は、今後も厳しい経営環境が続くという見通しの下、会長自らが先頭に立って、原点である住宅建設の強化を明確に打ち出して実践している。その結果として、「コダワリコトブキ」の家づくりというイメージが着実に浸透している。「汗と技術と心」を結集することによって、「地域社会の豊かな環境作り」への貢献を目指す当社の今後の展開が大いに注目される。

（松本 敏明）